エコアクション21
環境経営レポート

発行日：2023年5月29日

（活動期間：2022年4月～2023年3月）

有限会社東北オイルサービス

目次

１．環境方針と環境経営方針　・・・・・ 2 ページ

２．組織の概要　・・・・・ 3 ページ

３．環境経営活動実施体制　・・・・・ 5 ページ

４．環境経営活動の計画　・・・・・ 6 ページ

５．環境経営目標の実績・結果　・・・・・ 7 ページ

６．環境経営活動計画の取組と評価及び次年度への取組内容　・・・・・ 8 ページ

７．環境経営活動の中期目標　・・・・・ 9 ページ

８．環境経営活動の次期中期目標　・・・・・ 10 ページ

９．法の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無　・・・・・ 11 ページ

１０．代表者による全体評価と見直しの結果　・・・・・ 11 ページ

１１．組織の概要（情報公開）　・・・・・ 12 ページ

1. 環境方針と環境経営方針

環境方針

有限会社東北オイルサービスは、廃棄物の処理を通じて循環型社会にあったエネルギー資源として提供し、事業者の生産活動の向上に寄与する。

環境経営方針

1、社業である再生可能な資源のリサイクルや廃棄物処理を通して、廃棄物の減量を目指し、社会に貢献します。

2、省エネルギー・省資源、環境美化等を含めた環境保全のための活動に取り組みます。

3、危険物の作業処理場の安全運転、安全作業、安全処理に努めます。

4、事業活動の中で環境汚染が生じる可能性があれば、未然に防止する努力をします。

5、環境関連の法規を遵守し、環境保全への取組みに努めます。

6、エコアクション21の活動を行い、継続的に改善します。

平成20年 5月 1日制定
令和 3年 8月 1日改定

有限会社東北オイルサービス
代表取締役　兼田　忠康

2. 事業の概要

１）事業所名及び代表者名

事 業 所 名 ： 有限会社東北オイルサービス
代 表 者 名 ： 代表取締役　兼田　忠康
所　在　地 ： 岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割54番地6
T E L ： 019-692-1125
F A X ： 019-692-1119
E－mail ： oil-info@touhoku-oil-s.jp
H P ： touhoku-oil-s.jp

２）環境管理責任者等

環境管理責任者　川口　忍　　エコアクション21事務局　小笠原 留美

３）事業の規模

	2020年度	2021年度	2022年度
売上高(単位:千円)	96,838	113,164	122,097
従 業 員 数（人）	10	10	10
※廃油処分量（ｔ）	4,150.5	3,866.1	3,798.6
敷 地 面 積（㎡）	2,516	2,516	2,516

※廃油処分量は、産業廃棄物及び有価物の合計となります。

４）法人設立年月日・資本金

法人設立年月日　平成5年7月　　資本金　350万円

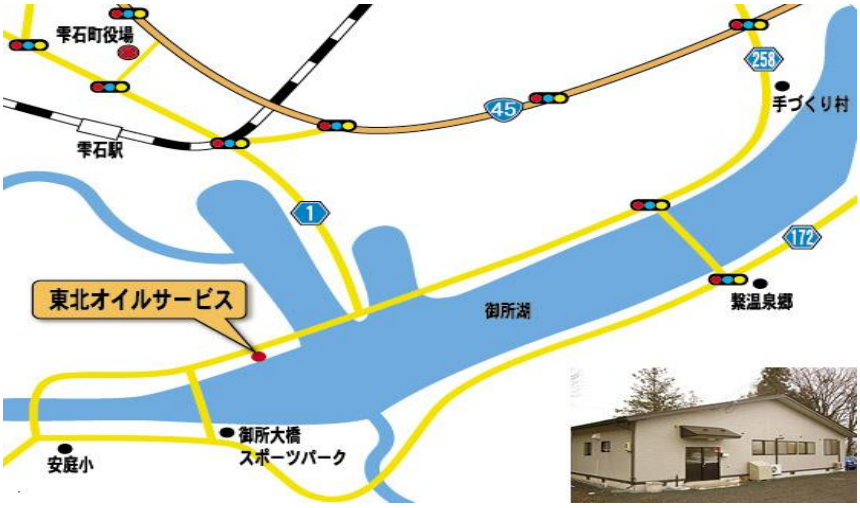
５）事業活動の内容

・廃油のリサイクル事業（中間処理業）
　処分方法 ： 中間処理（油水分離）
　処理能力 ： 廃油　8.0㎥／日
　処理工程 ： 4ページ　8)フロー図に記載
・産業廃棄物収集運搬業(･廃油･汚泥･廃酸･廃ｱﾙｶﾘ･廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類･紙くず･木くず･繊維くず･金属くず･がれき類･ｶﾞﾗｽくず､ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず)

６）事業活動の内容

全社、全事業活動、全従業員を認証登録範囲とします。

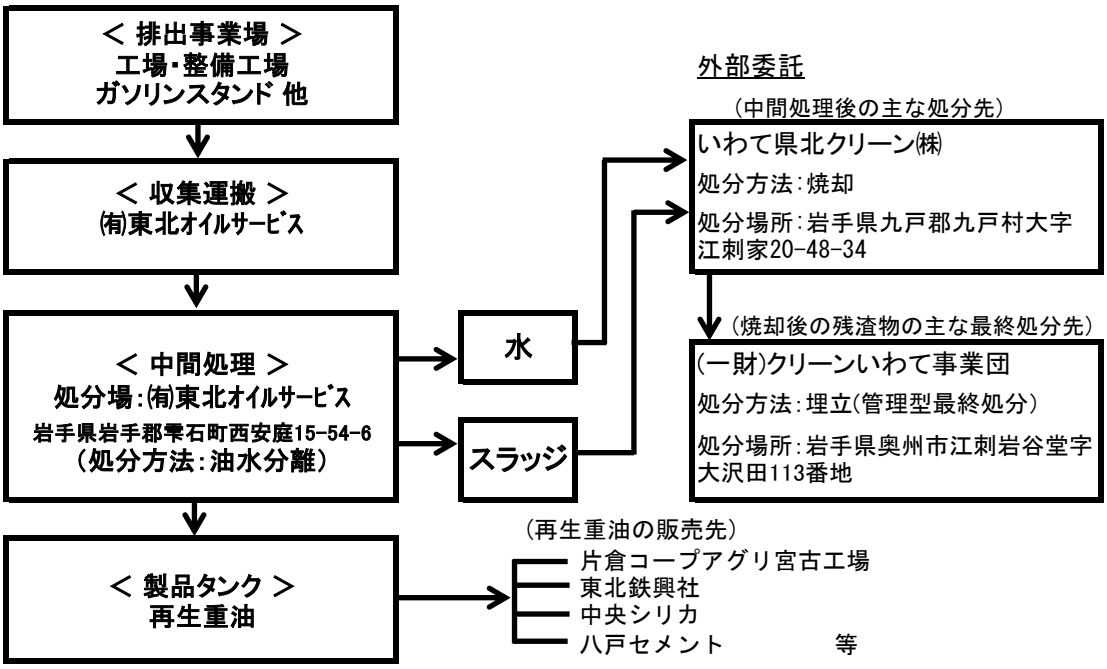
７）案内図

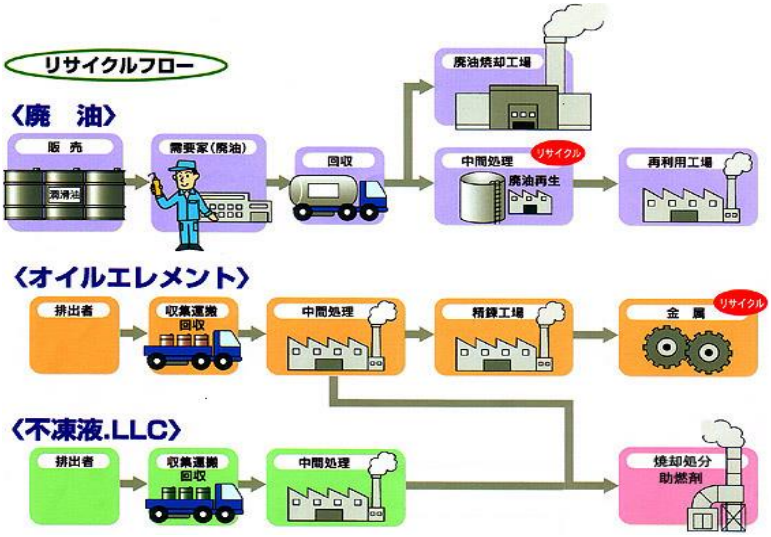


８）収集運搬車輌の一覧

車両番号		最大積載量	初年度登録	
①	岩 手 800 は 18-36（タンク車）	4.7KL	平成27年	
②	岩 手 800 す 97-37（タンク車）	3.1KL	平成27年	
③	岩 手 800 す 97-33（タンク車）	3.0KL	平成27年	
④	岩 手 800 は 10-21（タンク車）	5.0KL	平成20年	
⑤	岩 手 800 は 23-37（タンク車）	4.4KL	令和 4年	
⑤	岩 手 400 と・1-88（3tトラック）	3,000kg	平成29年	
⑥	岩 手 100 す 79-32（6tトラック）	6,300kg	令和 2年	
⑦	岩手800す50-78（ﾀﾞﾝﾊﾟｰ）	2,400kg	平成 9年	

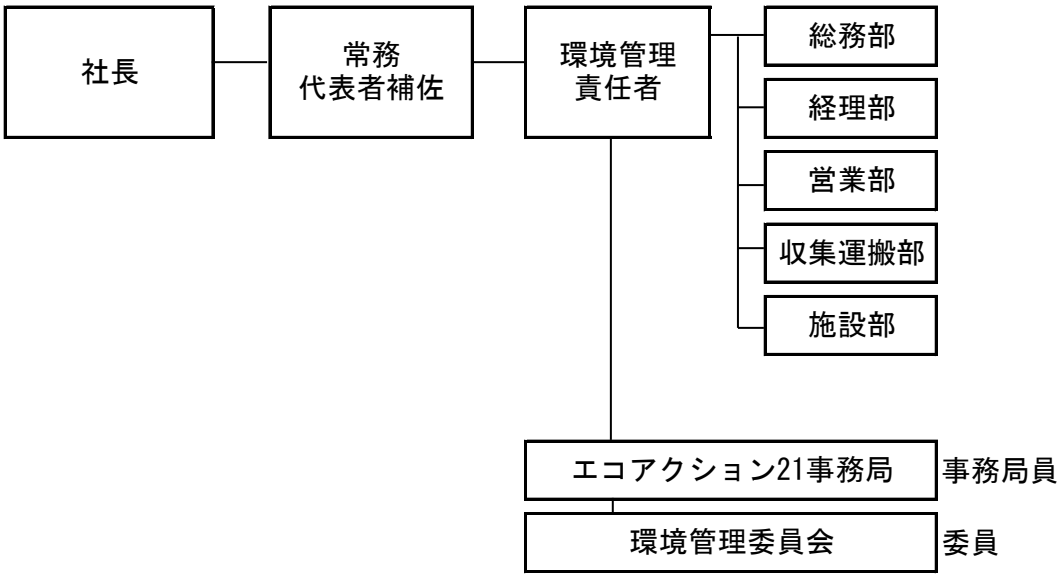
９）廃油の処理工程及び最終処分までのフロー図





3. 環境経営実施体制

1） 役割と責任・権限



2） 役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	社長	①環境方針の策定 ②環境管理責任者を任命する。 ③環境管理責任者からの報告を受け、全体見直しを行う。 ④取組に対する資源を用意する。 ⑤課題とチャンスの明確化 ⑥実施体制の構築
代表者補佐	常務	①代表者不在時代表者代行
環境管理責任者	課長	①代表者に代わってｼｽﾃﾑを構築し運用する。 ②代表者に結果を報告する。 下記項目を部門内で実施する。 ③必要な教育訓練を計画し実施する。
各部門責任者・環境管理委員会	部門責任者・環境管理委員	①省資源、省エネ、節水を奨励し実施する。 ②EA21目標達成の取組を推進し、チェックを行い環境管理責任者の了承のもと改善を行う。 ③苦情等の対策・予防処置の経過、結果の報告を受け改善を図る。 ④公害防止、緊急事態への予防処置を行う。
ｴｺｱｸｼｮﾝ21事務局	１名	①地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。 ②苦情への対策・予防処置対策を行う。 ③代表者に代わって環境管理責任者と共にシステムを構築し運用する。
従業員	従業員全員	①部門責任者のもと、省資源、省エネ、節水に努める。 ②ＥＡ21取組に関する教育訓練を受ける。

＜ＥＡ２１事務局及びコミュニケーション窓口連絡先＞

住　　所　：　岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割54番地6
ＴＥＬ　：　019-692-1125
ＦＡＸ　：　019-692-1119

4. 環境経営計画（2022年度 2022年4月～2023年3月）

環境項目	環境経営目標	内容
環境負荷低減	購入電力 （2019度実績値）	・事務所及び休憩所、処理工場で必要のない電気は消灯し、使用していない電気コンセントは抜く。 ・エアコンの設定温度はできるだけ28度以上に設定し、暖房は20度以下にする。
	軽油使用量 （2019年度実績値）	・エコドライブ、アイドリングストップ等により軽油使用量を削減する。 ・月毎の車両の燃料使用量及び走行距離を把握し各運転手の意識を高める。
	灯油使用量の把握及び削減 （2019年度実績値）	・暖房の温度設定を20度以下にする。 ・工場の稼働に無駄がないように努める。
	ガス使用量の把握及び削減 （2019年度実績値）	・ガス使用節約の張り紙をして、意識を高める。 ・必要最低限のガス使用量に努める。
	水使用量の把握及び削減 （2019年度実績値）	・節水の張り紙をして、意識を高める。 ・必要最低限の水使用量に努める。
	廃棄物量の把握及び削減削減 （2019年度実績値）	・コピー用紙の両面使用に努め、再利用できるものは再利用する。 ・ごみの分別をきちんとする。 ・事務用品等、詰め替え使用可能なものを積極的に使用する。
	オイル流出ゼロ	・荷卸しの際は必ずタンク内の残量を確認する。 ・危険物取扱中は、その場を離れないこと。
環境配慮製品	再生重油普及への取り組み	・原料である廃油の再生利用の向上に努める。 ・廃棄物が貴重な原料であることを意識づける。
環境に有益な取り組み	環境美化への取り組み	・社内の清掃、草刈はもちろん、沿道の清掃等を行う。
	廃油回収	・廃油の回収及び処分（ﾘｻｲｸﾙ）を行い廃棄物の減量に努める。
その他の取り組み	環境教育	・産業廃棄物協会開催の講習会等への参加。

5. 環境経営の目標と結果

2022年度実績値

環境目標	目標内容	単位	目標値	2022年度	2021年度	2020年度
			2019.4月～2020.3月	2022.4月～2023.3月	2021.4月～2022.3月	2020.4月～2021.3月
			基準年（目標値）2019年度実績値	実績値	目標値(2019年度実績値)	
				目標達成率		
CO2排出量の削減	消費電力量削減	kg-CO2	14,336.78	13,229.04	14,336.78	14,336.78
				108.4 %		
	運搬車輌の軽油使用量削減	kg-CO2	124,797.34	117,410.64	124,797.34	124,797.34
				106.3 %		
	ガス使用量削減	kg-CO2	73.55	55.80	73.55	73.55
				131.8 %		
	灯油使用量削減	kg-CO2	50,608.61	44,190.03	50,608.61	50,608.61
				114.5 %		
排水量の削減		㎥	563	593	563	563
				94.9 %		
一般廃棄物削減	可燃･不燃ｺﾞﾐの削減､ﾘｻｲｸﾙ､分別	kg	64	81	64	64
				79.0 %		
廃油回収量		t	3,463	3,412	3,463	3,463
				98.5 %		

※購入電力のCO2排出係数は、2020年度の東北電力の実排出係数 0.528kg-CO2/kwhを使用しました。
※購入電力は、事務所及び処理施設全ての合計数量です。
※一般廃棄物の実績値は単純焼却の数量です。
※達成率＝(目標値÷実績値)×100で計算しています。
※2020年度から2022年度までは、基準年を2019年度とします。

6. 環境経営の取組と評価及び次年度への取組内容

〇環境活動の取組は、2019年度の実績値を目標として活動しました。

① 温室効果ガスの削減

１）消費電力（達成率：108.4%）

・電力使用量の削減目標は、達成することができました。

・夏は猛暑でエアコン使用が増えましたが、5月に20年以上使用していたエアコンを買替えたことが電気使用量削減につながりました。

・工場の稼働時間に無駄がないようにしました。

・節電の意識は定着しています。（昼休憩時の消灯、不要電気製品のコンセントを抜く、冷暖房の適正な温度設定等）次年度も節電を行い目標達成できるよう努めます。

２）灯油（達成率：114.5%）

・灯油使用量の削減目標は、達成することができました。

・灯油使用量の大部分が処分場の機械の燃料になりますが、残業時間の減少及び休日の増加が要因だったと思います。また、工場の機械の稼働に無駄がないようにしました。

・冬期の暖房使用時の温度設定を20度もしくは20度以下に設定し灯油使用に無駄がないようにしました。次年度も灯油使用量の削減に努め、目標達成できるよう努めます。

３）軽油（達成率：106.3%）

・軽油使用量の削減目標は、達成することができました。

・残業の減少及び休日の増加が要因だったと思います。

・車両運転時のエコドライブは定着しています。引き続きエコドライブに努めます。

４）ガス（達成率：131.8%）

・ガス使用量の削減目標は、達成することができました。

・夏場は、ガスを完全に使用しないよう元栓を締めています。使用する場合は、最小限の使用に努めました。また冬場も、なるべくガスを使用しないよう心掛け使用する場合は、最低限の使用に務めました。

② 排水量（達成率：94.9%）

・水使用量の削減目標は、達成することができませんでした。

・工場のボイラーの冷却に使用する水が主になります。また日常では、車両の洗車の回数を減らしたり、手洗い等の水道の使用量を最低限にしました。昨年に比べ節水はできています。次年度も節水を徹底し節水に努めます。

③ 廃棄物の排出量（達成率：79.0%）

・廃棄物排出量の削減目標は、達成することができませんでした。
ごみの分別を徹底し、なるべくごみが出ない商品の購入に努めました。
倉庫の清掃を行い出てきた廃棄物が排出量増加の原因と思われます。
次年度も分別を徹底し、ごみの削減に努め目標達成できるよう努めます。

④ 環境配慮製品：再生重油普及への取組み

・再生重油の原料である廃油の再生利用向上のため、油水（含油水）も回収し油分の再生利用に努めている。更に、再生重油の品質向上のため、油水分離機のストレーナーのメッシュを細かいものにし、質の良い再生重油の生産に努めています。

・廃油（廃棄物）を再生利用し、資源を有効活用していることを従業員に認識させています。

⑤ 廃油再資源化（達成率：98.5%）

・廃油の再資源化は、目標達成することができませんでした。

・わずかに目標達成できなかったものの、質の良い再生重油を多く供給することがきました。

〇環境活動の次年度への取組

2022年度の活動で目標達成できたのは電気、灯油、軽油、ガスの4項目でした。
未達成は、水、一般廃棄物、廃油再資源化の3項目でした。エコアクションの活動はしっかりできています。従業員の活動に対する意識も定着しています。
次年度もエコアクションの活動をしっかり行い、目標達成出来るよう取組みます。

7. 環境経営の中期目標

環境目標	目標内容	単位	基準年度 （2019年度実績値）	2020年度から2022年度までの目標値		
				2020年度	2021年度	2022年度
			2019年4月～ 2020年3月	2020年4月～ 2021年3月	2021年4月～ 2022年3月	2022年4月～ 2023年3月
			基準値	目標値	目標値	目標値
CO2 排出量 の削減	消費電力量の削減	kg-CO2	14,336.78	14,336.78	14,336.78	14,336.78
	運搬車輌の軽油使用量の削減	kg-CO2	124,797.34	124,797.34	124,797.34	124,797.34
	ガス使用量の削減	kg-CO2	73.55	73.55	73.55	73.55
	灯油使用量の削減	kg-CO2	50,608.61	50,608.61	50,608.61	50,608.61
排水量削減		㎥	563	563	563	563
一般廃棄物量削減	可燃･不燃ｺﾞﾐの削減、ﾘｻｲｸﾙ、分別	kg	64	64	64	64
廃油回収量		t	3,463	3,463	3,463	3,463

※2020年度から中期目標を見直ししています。
　結果が、実績値と大幅に異なるまで目標値は変更しません。
※一般廃棄物の実績値は単純焼却の数量です。
※購入電力のCO2排出係数は、2020年度東北電力の実排出係数0.528kg-CO2/kwhを使用していま
　す。（環境省報告発表）
※購入電力は、事務所及び処理施設全ての合計数量です。

8. 環境経営の次期中期目標

環境目標	目標内容	単位	基準年度 （2022年度実績値）	2023年度から2025年度までの目標値		
				2023年度	2024年度	2025年度
			2022年4月～ 2023年3月	2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月	2025年4月～ 2026年3月
			基準値	目標値	目標値	目標値
CO2 排出量 の削減	消費電力量の削減	kg-CO2	11,450.14	11,450.14	11,450.14	11,450.14
	運搬車輌の軽油使用量の削減	kg-CO2	117,410.64	117,410.64	117,410.64	117,410.64
	ガス使用量の削減	kg-CO2	55.80	55.80	55.80	55.80
	灯油使用量の削減	kg-CO2	44,190.03	44,190.03	44,190.03	44,190.03
排水量削減		㎥	593	593	593	593
一般廃棄物量削減	可燃･不燃ｺﾞﾐの削減、ﾘｻｲｸﾙ、分別	kg	81	81	81	81
廃油回収量		t	3,412	3,412	3,412	3,412

※2023年度から中期目標を見直し。
※一般廃棄物の実績値は単純焼却の数量です。
※消費電力量のCO2排出係数は、2021年度実績(2023年１月24日発表)東北電力の実排出係数
　0.457kg-CO2/kwhを使用しています。(環境省報告発表)
※購入電力は、事務所及び処理施設全ての合計数量です。

9. 法の遵守と違反の有無

環境関連法規チェック表にて確認を行った結果、法規に違反はありません。また、苦情や訴訟に関しても苦情受付記録簿を確認しましたが、過去実例はありません。
行政からの指摘事項も、過去ありません。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

2022年度の活動で達成できたのは、「電気使用量の削減」、「軽油使用量の削減」、「灯油使用量の削減」、「ガス使用量の削減」の4項目でした。
全項目達成はできなかったものの、前年に比べ3項目多く達成できたことは良かったと思います。また、「廃油回収量の増加」の達成により、前年同様再生重油の供給及びリサイクルに貢献できたと思います。今後も質の良い再生重油を供給できるよう努めます。
目標未達成だった3項目については、是正措置を講じ次年度目標達成できるよう努力していきます。
エコアクションの活動は定着しています。引き続きエコアクションの活動をしっかり行い環境負荷を削減する取り組みを行っていきます。

＜次年度への見直し点＞
2023年度は、目標値の見直しとなります。
次年度は、全項目目標達できるよう従業一同より一層エコアクションの活動に取組みます。

10. 組織の概要（情報公開）

事業所名	有限会社東北オイルサービス			
代表者名	代表取締役　兼田　忠康			
所在地	岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割54番地6			
環境管理責任者	川口　忍			
エコアクション２１担当者	小笠原　留美			
連絡先	電話	019-692-1125	FAX	019-692-1119
	E-mail	oil-info@touhoku-oil-s.jp		
	URL	http://touhoku-oil-s.jp		
事業活動の内容	ガソリンスタンド、自動車整備工場、工場等から排出される廃油の収集運搬及び処分（リサイクル）と、廃エレメント（金属くず）、廃プラスチック類、廃アルカリ、汚泥等の収集運搬を行っております。			

事業の規模	事業年度	2019年度(単位：ｔ)	2020度(単位：ｔ)	2021度(単位：ｔ)	2022度(単位：ｔ)
	売上高（単位:千円）	113,705	96,838	11,316	12,209
	(産廃)廃油収集運搬量	3,534.4	3,962.6	3,961.3	3,985.5
	(特管)廃油収集運搬量	40.7	50.5	69.8	67.5
	(産廃)廃棄物金属くず収集運搬量	106.0	102.6	107.8	111.8
	(産廃)ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類収集運搬量	33.8	32.8	32.4	33.0
	(産廃)廃ｱﾙｶﾘ収集運搬量	109.2	99.3	85.8	88.3
	(産廃)汚泥	97.5	124.8	102.5	98.7
	(産廃)廃酸	0.0	0.0	0.0	0.0
	(産廃)ｶﾞﾗｽくず､ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	0.5	0.1	0.1	0.2
	(産廃)木くず	0.1	0.1	0.5	0.1
	(特管)強酸	0.0	0.0	0.0	0.1
	(産廃)廃油処分量	3,680.2	4,090.3	3,787.6	3,724.0
	(特管)廃油処分量	41.7	60.3	78.5	74.5
	社員・従業員（名）	10	10	10	10

法人設立年月日	平成5年7月	資本金	350万円

許可の内容	許可名／許可番号	許可の有効年月日		事業計画・事業の範囲（事業区分、廃棄物の種類）
	岩手県産業廃棄物収集運搬業 ００３０１００７４７６	許可	平成30年8月6日	廃油、汚泥、廃酸、廃ｱﾙｶﾘ、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類、ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず
		有効	令和5年8月5日	
	岩手県特別管理産業廃棄物収集運搬業 ００３０１００７４７６	許可	平成30年8月6日	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く）、廃酸(水素ｲｵﾝ2.0以下)
		有効	令和5年8月5日	
	岩手県産業廃棄物処分業 ００３２１００７４７６	許可	平成30年8月6日	廃油(特別管理産業廃棄物であるものを除く)
		有効	令和5年8月5日	
	岩手県特別管理産業廃棄物処分業 ００３５１００７４７６	許可	平成30年8月18日	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く）
		有効	令和5年8月17日	
	青森県産業廃棄物収集運搬業 ００２０１００７４７６	許可	令和1年9月17日	廃油(特別管理産業廃棄物であるものを除く)
		有効	令和6年9月16日	
	青森県特別管理産業廃棄物収集運搬業 ００２５１００７４７６	許可	令和1年9月17日	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く）
		有効	令和6年9月16日	
	秋田県産業廃棄物収集運搬業 ００５０６００７４７６	許可	令和1年8月23日	廃油(特別管理産業廃棄物であるものを除く)
		有効	令和6年8月22日	
	秋田県特別管理産業廃棄物収集運搬業 ００５５６００７４７６	許可	令和1年8月23日	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く）
		有効	令和6年8月22日	
	宮城県産業廃棄物収集運搬業 ００４０００００７４７６	許可	令和4年11月5日	汚泥、廃油、廃酸、廃ｱﾙｶﾘ、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、金属くず（これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く）
		有効	令和9年11月4日	
	宮城県特別管理産業廃棄物収集運搬業 ００４５０００７４７６	許可	令和4年11月5日	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限る）、廃酸（水素ｲｵﾝ濃度指数2.0以下のものに限る）
		有効	令和9年11月4日	

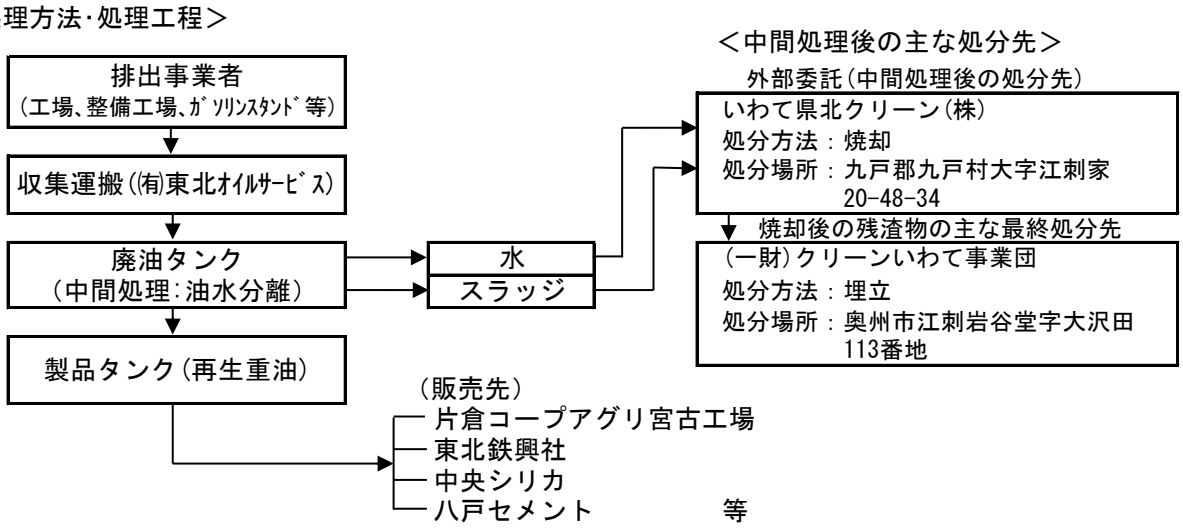
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	タンク車	５．０ＫＬ	1	タンク車	４．４ｔ	1
	タンク車	４．７ＫＬ	1	トラック	６．０ｔ	1
	タンク車	３．１ＫＬ	1	トラック	３．０ｔ	1
	タンク車	３．０ＫＬ	1	ダンパー車	２．４ｔ	1

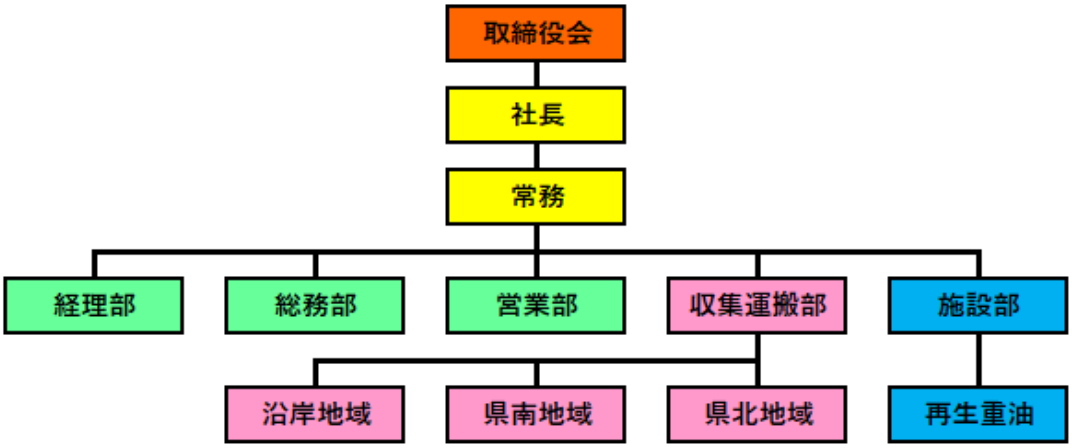
受託した廃油の処理量

2022年度（2022年4月～2023年3月）

処理方法等		廃棄物等種類	処分場所	処分方法	処理量（ｔ）
油水分離		廃油（産業廃棄物）	㈲東北ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽ	油水分離	3,724.1
		廃油（特別管理産業廃棄物）	㈲東北ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽ	油水分離	74.5
収集運搬量合計					
中間処理（リサイクル）		廃油	油水分離		3,798.6
中間処理合計					
中間処理後の産業廃棄物	再資源化等	廃油	（委託） いわて県北クリーン(株) 処分方法：焼却		13.1
			（委託） (株)オイルプラントナトリ 処分方法：混合		244.9
			（委託） 太平洋セメント(株)大船渡工場 処分方法：焼却		128.4
			（売却） 再生重油として売却		3,412.2
中間処理後処分量合計					

＜処理方法･処理工程＞



廃棄物の処理料金については弊社ホームページ http://touhoku-oil-s.jp もしくは、電話019-692-1125 までお問い合わせ下さい。

組織図